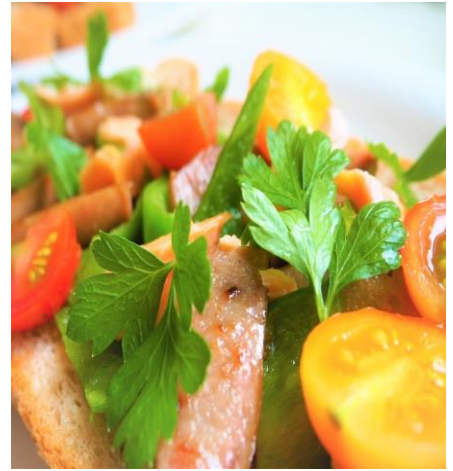


ちょっとあったら嬉しい「菜」ったら嬉しい「根」♪ 秋にオススメの家庭菜園は葉菜と根菜 ミズナ、リーフレタス、ラディッシュなど 栽培のポイントは「栽培適期」・「土」・「虫」

タキイ種苗は秋の家庭菜園シーズンに向け、初心者の方でも育てやすい野菜をご紹介します、家庭菜園ユーザーを応援します。

お料理をしていて、“ちょっとだけ野菜を添えたいな”とか“料理の彩りに野菜がちょっとだけあると嬉しいな”ということはありませんか？ 秋は気候が涼しくなり動きやすくなるので、野菜を育てるのにもぴったりの季節です。今年はベランダや庭先のおうち菜園で、“野菜のちょっとだけ”を叶えませんか？

秋に野菜を栽培する際のポイントと、おすすめ野菜をご紹介します。



■秋に野菜を育てるポイント

1 栽培適期を守る

「秋の1日、春の7日」ということわざは、秋の農作業で1日遅れると、春に7日作業が遅れるのと同じだという意味です。タネを播く、苗を植え付ける、収穫する、それぞれの作業に適した時期があります。まだ暑さが残る時期にタネを播くと、発芽しにくくなりますし、適期よりも遅く播くと、気温が低下して生育が進まず、収穫が遅れてしまう場合があります。

パッケージの裏面にある“作型表”などを参考にしながら、必ず栽培適期を守るようにしましょう。

太りがよく、曲がり癖も発生しにくく作りやすい。 肉質は緻密で食味がよい。 入り口が強いので、比較的長く収穫できる。

発芽適温 20～25℃ 生育適温 17～21℃ 発芽日数 3～5日

【まきどきと収穫期】
● タネまき
○ 生育期
□ 収穫期
▲ 栽培可能期間

※作型はおよその目安です。栽培は必ず作型表に準じて実施してください。

栽培方法
① 穴まき 1穴につき1粒
② その後の管理 肥料が多すぎると、葉が太り大きくなりますが、根の肥大が遅くなるので注意します。
③ 収穫 収穫の遅れは、入り口や根割れにつながるため、石どりから適期収穫を心掛けます。

※この種子を食べたり、動物糞に与えないでください。また、お子様の手の届かない所で保管してください。
※産地は日本産です。100%の国産品ではありません。また、産地の気候条件、天候により、無農薬栽培が難しい場合があります。万一の産地不適合の責任は、種子採集の地産的にさせていただきます。●箱口に加工(ベレット等)されたものについては、責任を負いません。 ●お問い合わせ先は必ずこちらです。

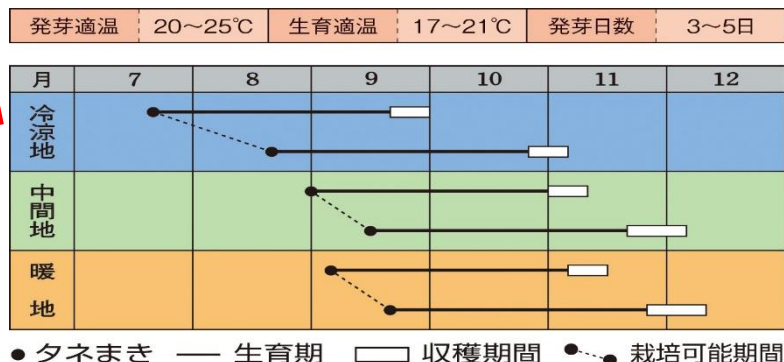
有効期限 発芽率 85%以上
生産地 ※この種子は無農薬処理
製造 LOT イブロジオン、キャプタン
種子採集 各1回

タキイ種苗株式会社
京都市下京区梅小路

974650641134

要CHECK

タネ袋の裏面には、作型表や発芽・生育適温などが書かれています



作型表

2

「土」へのこだわりが成功への「近道」

培養土は栽培の基本となる最も重要な部分になります。よいタネと苗、栽培に適した気象条件や管理方法であっても、培養土の品質が悪ければ栽培はうまくいきません。「培養土の選択が成功の半分を決める」と言っても過言ではありません！

野菜栽培専用の培養土は、野菜栽培に必要な肥料などが配合されています。初めて栽培する際は、事前に野菜の栽培に適するように設計された**野菜栽培専用の培養土**を用意しましょう。



タキイおすすめ培養土

「野菜の土」

3

虫から野菜を守る

涼しくなっても虫はおいしい野菜を狙ってやってきます！ タキイ種苗が2020年に調査した「家庭菜園で失敗した原因」の結果によると、**虫の発生が1位**でした。

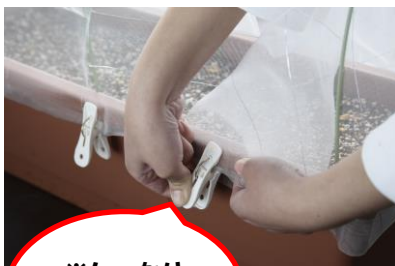
●家庭菜園で失敗した原因

<家庭菜園での失敗経験がある人 (n=248) >
※複数回答、トップ5

1位	虫が発生した	45.6%
2位	自分の管理が悪かった	41.9%
3位	土が悪かった	29.8%
4位	水をあげすぎている	24.2%
5位	場所が悪かった	23.4%

「2020年度 野菜と家庭菜園に関する調査」より

虫を防ぐには、タネ播きした後すぐに防虫ネットをかけるのがおすすめです。その際は、横から虫が侵入しないよう、洗濯ばさみなどでプランターとネットをしっかりと止めることが大切です！ ネットを外すタイミングは、野菜がネットの天井に届くくらい生長した時か、収穫の1週間前くらいが目安です。ネットをかけない場合は、虫を見つけたら手で捕殺するか、様子を見ながらスプレータイプの殺虫剤などを使用して早めの防除を心がけましょう。



※しっかりと止める！



防虫ネットをかける
(ネットの上からでも水やりが可能です！)



殺虫剤を散布する

ちょっとあたら



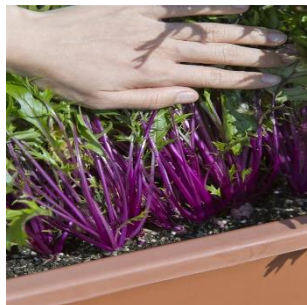
タキイおすすめ！秋に育てる 嬉しい野菜

秋に育てる野菜でおすすめは、生育期間が1～2カ月程度で、初心者の方にも育てやすいミズナ、ホウレンソウ、コマツナ、リーフレタス、二十日ダイコンなどです。



ホウレンソウ「弁天丸」べんでんまる

くせが無く、冬に収穫すると葉に甘味がありとってもおいしい！従来のホウレンソウよりルテインを約1.5倍多く含む。



ミズナ「紅法師」べにほうし ※1

葉と葉柄のコントラストが美しく、シャキシャキした食感がたまらない赤紫ミズナ。アントシアニンを豊富に含む。料理のアクセントにも大活躍！



ベビーリーフレタス

「ガーデンベビー」

草丈10～15cmのベビーリーフ。苦みが少なく口当たりがよいのでほかのサラダ食材と合わせやすい。

ハーブもおすすめ



イタリアンパセリ

ビタミンA、B、Cが豊富で、パスタや肉・魚料理など幅広く利用できる。



ラディッシュ・二十日ダイコン

「ニューコメット」

表皮はテリのある赤色で、内部は白肉。サラダや浅漬けに向く。



コマツナ「菜々美」ななみ

病気に強く、初めてコマツナを育てる方にもオススメ！

ベランダや庭先でのおうち菜園は、収穫してすぐの新鮮な野菜が食べられ、お料理で“野菜がちょっとだけ欲しい”が叶います！また、お子様と一緒に野菜のタネを播いて、育つ過程を観察したり、収穫する喜びを味わうのもおうち菜園ならではの楽しみです。ぜひ今年の秋は、おうち菜園にチャレンジしてみませんか？

タキイ種苗は今後も、「みなさんのあたら嬉しい！」を叶えて行けるよう努めてまいります。



※1 紅法師 農林水産省登録品種（品種名：TTU491）